

研究課題名	透析療法導入後の生命予後への影響をおよぼす導入時臨床所見，検査データ，および使用薬剤の検討
研究機関名	和歌山県立医科大学、武蔵野赤十字病院、大阪府りんくう総合医療センター，河北総合病院，社会保険中央総合病院，昭和大学藤が丘病院，聖路加国際病院，東邦大学医療センター大橋病院，東京慈恵会医科大学青戸病院，名古屋第二赤十字病院
研究責任者	所属 腎臓内科 氏名 安藤 亮一
研究期間	平成 27 年 12 月 ～ 平成 30 年 12 月
研究の意義・目的	武蔵野赤十字病院腎臓内科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院臨床研究倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。透析療法開始時の臨床所見，検査データ，および使用薬剤などが透析開始後の生命予後に対して影響があるかどうか検討することが本研究の目的です。
研究の方法 (対象期間含む)	平成18年1月1日から平成26年7月31日までの期間中に、慢性腎臓病にて透析療法を開始された方が対象となります。この研究で利用させて頂くデータは、初回透析療法開始時，終了時の血液検査，血圧，体重，身長，心胸郭比(CTR)，バスキュラーアクセス，使用薬剤に関する情報です。また，透析開始後の生存期間についても検討します。
個人情報の取扱い (匿名化する場合はその方法を含む)	利用する情報からは，患者さんを特定できる個人情報は削除します。また，研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが，その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが，患者さんには，ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合，これを拒否する権利があります。その場合は，下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお，研究協力を拒否された場合でも，診療上の不利益を被ることは一切ありません。
問合せ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 腎臓内科 氏名 安藤 亮一 TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525